



寝屋川社保協総会で講演する寺内さん

議会が子どもの貧困問題に取り組むきっかけは、08年～09年の「無保険の子ども解消」の大運動で、現在では18才までの子どもには必ず保険証が発行されています。今年は自治体キヤラバンの一番目の項目にもしている。寝屋川の皆さんのが取組に期待しますと記念講演

未来ある子どもたちの危機 子どもの貧困問題

5月15日に、16年度の寝屋川市社会保障推進協議会総会が行われました。大阪社会保障推進協議会事務局長の寺内順子さんが「未来ある子どもたちの危機・子どもの貧困問題・現状と課題取組について」の記念講演を行いました。

記念講演では、日本の子どもの6人に1人が貧困にあり、更にシングルマザーの家庭の貧困率が5割を越えている現状が報告されました。シングルマザーの貧困率はOECD加盟国中トルコについて、ワースト2位になっています。

更に山形大学戸室准教授の試算では大阪の子どもの貧困率は21.8%と5人に1人が貧困と沖縄県についてワースト2位となっていました。寝屋川の実態もこ

0歳シングルマザーと小学生2人世帯	所得 110万円 だと	れに近いものがあるの ではと話されました。
円 年間	17万6600円	シングルマザー世帯
年間 保険料	18万7000円	の生活の苦しさは複合的 な貧困で①現役労働者 の貧困②女性の貧困 ③社会保障の貧困とし て話されました。
保険料だけで年間約36万4千円		特に③社会保障の貧 困については、本来所 得の再配分機能を持つ ているはずの社会保障 制度が逆転現象を起こ している。寝屋川市の 数字で国保料・国民年 金保険料の高さが指摘 されました。(表参照)
入のなんと約20%		

香里地域で子ども食堂を始めた寺本さんの報告がありました。4月に行われた初めての子ども食堂には50名を越える参加者があり、毎月第一金曜日開催と決めた二回目の5月6日には、40名を越える参加者があつたと報告されました。参加した子どもたちの喜びの声が紹介され、今後の課題として食材・財政・人員の確保などの運営上の問題と、今後、必要とされている子どもたちにどのように参加を呼びかけるのかなどを試行錯誤している中で社会保障推進協議会に参加している団体個人に支援の要請がありました。

寺内さんは大阪社保協のネットワークを活用してくださいと提案もありました。

ます。法治国家である日本では、法律は知つてゐるものとして暮らしています。法を犯すと罰せられます。残念ながら知らなかつたは通りません▼それと同様に行政のいろいろな施策は広報等で一度お知らせがなされるとすべての市民は知つてゐるとの前提で行政運営はなされているように感じてなりません。そのため、寝屋川市が行つているいろいろな施策は利用されないままになつてゐるもののが少なくありません▼国民健康保険料の減免制度はまだいい方で最大で1万人近くの方が利用した年がありました。それに比べて国民健康保険の一部負担金減免制度は毎年数名の利用にとどまっています。市によつて制度内容は違いますが数千・数百の利用者がいる自治体と比べるとその差は歴然です。介護保険料の境界層減免の制度も毎年1・2名の利用にとどまっています▼せつかくの制度が利用されないままに埋もれています。しつかりと行政が周知をすることが求められます。

寝屋川社会保障推進協議会総会

賓川民報

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
(内線2399)
FAX : 824-7760
No.2796

石本えりな
太秦元町9-2-203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4-33

090-3944-8385
西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2-16-11
090-1025-7503

寝屋川市議会諸課題等研究会が亀岡市視察

「市民のための議会目指して」

寝屋川市議会諸課題等研究会(4月終結)で、4月20日亀岡市議会を視察しました。

亀岡市議会では、市議会議長から「議会改革、活性化の取り組みについて」説明がありました。

亀岡市は、03年か

ら議会活性化に取り組んでいます。議会活性化の基本として、第1に「議会の公開」を基本にして、「個人情報以外は全て公開する」としています。

第2に、「市民参加」を推進するためには、17回の特別委員

会の議論をへて、10年に議会基本条例を制定しました。議会のホームページでは、09年から議会のインターネット中継を配信。11年から政務活動費公開、決算、予算審査特別委員会のインターネット配信をおこなつて

会の議論をへて、10年に議会基本条例を制定しました。

また、常任委員会を月例開催して、①行政から重点施策の経過説明、制度説明、②審議会の状況報告、③委員間の情報共有、④施設職員等との意見交換を行つていま

す。さらに、市民と議

います。

亀岡市の市議会議長は、「市民のための議会めざして」今後も議会改革を進めいくと語りました。

国保料の府内統一やめよ

日本共産党大阪府議団 知事あて申し入れ



**太田
とおる**

日本共産党大阪府議団(宮原威團長)は9日、国民健康保険の保険料や減免制度の府内統一はせず、各市町村が実情に応じた制度を続けられるよう、松井知事あてに申し入れを行いました。

現在、国保の保険料率は市町村ごとに毎年度決められ、また市町村が条例で独自の減免制度を定めることができます。また府内市町村は法律で定められた負担金以外にも保険料抑制などのために一般会計から国保会計に繰り入れをしていきます。(14年度市町村計約261億円)。

しかし、18年度からの国保都道府県化にあたり、大阪府は、府内統一や、法定繩

府は保険料統一は必要

6項目を求めました。

応対した佐藤敏彦・府国民健康保険課長は、保険料値上がり



り入れの解消などの方向を示しています。申し入れでは、保険料・減免基準統一により、「これまで低所得者の保険料軽減や住民の健康増進に努力してきた市町村ほど保険料が大幅に値上げされる」と府の方針を批判。

日本の予算削減を改めない限り国保立て直しはできないと指摘し、府が定める「標準保険料率」を市町村に一律に適用しない▽条例減免制度の府内統一はしない▽法定外繰り入れ「解消」を市町村に押し付けないなど6項目を求めました。

寝屋川市は大阪府市町村国民健康保険広域化調整会議のワーキンググループに参画をしています。寝屋川社会保障推進協議会との懇談の中では市民に不利益となるような発言をしていると説明もありました。

5月3日「憲法こわすな! 戦争法廃止へ! おおさか総がかり集会」が扇町公園であり私も参加してきました。参加者は2万人、扇町公園にどんどんと人が入ってきて戦争法廃止を訴える人がこんなにもいるのかと感動しました。舞台の上には、日本共産党・民進・社民・生活の野党4党の代表が勢ぞろいし、戦争法廃止、参院選勝利を訴えました。特に社民党、生活の党の代表者からは、7月の参議院選挙で改憲勢力を少數に追い込むためにも4議席の内の2議席は共産、民進を必ずとの訴えは驚きました。まさに一致点での共同が前に進んでいることを確信しました。

固定資産税の減免は支払ったものは原則戻つて来ません。支払う前に減免申請が必要です。ぜひ気軽に市役所や日本共産党議員団に相談してみてください。